

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和3年8月13日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670104076
法人名	有限会社 パッション
事業所名	グループホーム パッション
所在地	鹿児島県鹿児島市和田一丁目16番1号 (電話) 099-269-1171
自己評価作成日	令和3年7月13日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和3年8月10日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

国道225号線沿いに面し、バス停(大御堂)より徒歩2~3分。近隣にコンビニ・スーパー・銀行など徒歩圏内で行ける環境的には恵まれています。

道路向いに脳神経外科、近くに鹿児島生協病院など、緊急時の対応が迅速に取れ、利用者のご家族にも喜ばれています。

また、重症化されても往診クリニックや主治医との医療面での連携が取れ、ご家族の協力を頂きながら過ごす事ができます。

去年からコロナ対策で、残念ながら訪問回数は制限されましたが、家族・民生委員・近所の方々など、皆さんで賑やかに過ごされています。

開設以来、常勤職員が変わらず、喜びも悲しみも苦労を共にしたチームワークが強みです。町内会行事も、積極的に参加させて頂いています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は利便性の良い場所に立地している。
- ・医療機関等に近く緊急時には即対応ができ、本人・家族が安心している。
- ・利用者を家族のように大切に、地域の中で暮らせるように支援している。
- ・医療に関する知識をもった職員が長期に勤務し、管理者を中心に対応し、利用者の表情が穏やかである。
- ・職員間のコミュニケーションがとれている。
- ・職員は利用者の自由な暮らし、1日の生活の仕方を大切にして寄り添って支援している。
- ・管理者は開設時から勤務しており、職員の働きやすい環境を整え研修会参加を奨励し資質向上に力を入れている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	地域の中で家族として、利用者・家族との生活を大切にする事を中心に努力している	理念は事務室・更衣室・玄関に掲示しパンフレットにも掲載している。家族のように暮らしていることを大切に、職員会議で話し合い、職員は理念を共有し支援している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入して、出来る限り行事に参加し、民生委員を通じて地域の情報を共有している	町内会に加入しコロナ感染防止の対策を行い、地域の行事等に参加している。民生委員との連携が取れているので、地域の情報を得たり、相談に応じる等、地域の一員として交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	通りすがりの近隣者が相談されたり、他施設の紹介など役立つ様に努めている		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	民生委員・長寿あんしんセンターの担当者との会議で、悩みの相談や取り組み状況など情報を頂いている	会議はコロナ感染防止の為、職員のみで実施し、資料を委員へ送付している。家族等へは写真も送っている。面会を自粛している為、家族と会えない事でのサポートが必要で工夫し支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	介護保険課へ相談し、的確なアドバイスを頂いている	市の担当者とは入所の相談や更新の申請等を介護保険課に出向いたり、電話で相談や助言を貰っている。市主催の研修会に参加して協力関係を築くように取り組んでいる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束廃止委員会を設置し、会議を開催している 外部研修や情報をミーティングで広報して、問題意識を持ちケアする様に心がけている	身体拘束廃止委員会があり、マニュアルを基に会議を3ヶ月毎に、ミーティングで毎回話し合いをしている。玄関の施錠は昼間はしていない。外出希望の利用者へは職員が同行して散歩や近隣の店へ買い物に出かけている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ハード面だけでなく、ソフト面でのスピーチロックなどを取り上げ、研修を行っている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	当ホーム内でも成年後見制度を利用される方がいたので、研修の参考にさせて頂いたり、外部研修で学んでいる		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居前に本人・家族と面談を行い、要望・問題点・今後の方向性などを伺い、理解された上で契約を行っている</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>1階玄関・2階入り口に意見箱を設置し、定期的に確認している 家族の面会時は、連絡ノートで内容を確認し、伝達している</p>	<p>利用者からは日常の関わりの中で意見や要望を聞いている。家族からは玄関に意見箱の設置や連絡ノートを置いて、感じたこと等を書いて頂けるようにしている。メールやラインで意見交換もしている。面会の自粛で、日頃の写真や支援内容を送付して懇談している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>1ヶ月1回ミーティング開催 2ヶ月1回全体ミーティングで、意見交換・要望を聞いている</p>	<p>管理者は毎月のミーティングや全体ミーティングで職員の意見や要望を聞いている。個別にも相談に対応している。職員の資格取得等について支援を行ったり休暇願の相談にも応じている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>コロナ対策での外出制限で、本年度は「Sカフェ」が中止となるスタッフの勤務状況・実績に応じて、年齢制限の延長を経営者において、承認を得ている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>代表者とはいつでも連絡が取れるシステムで、相談し助言を頂いている</p> <p>また、外部研修も積極的に参加している</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>法人内で1ヶ月1回会議を開催し、研修やネットワークを作っている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前にご本人・ご家族・ケアマネにより情報収集をし、問題点把握・共有し、対応に役立っている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族へ、ご家族と共に協力しながらケアを行う事を認識して頂き、家族との関係性を確立している		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族からの情報を基に、安心して生活できる支援を優先している		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人のADL状態をみながら、日課に取り込めるよう、一緒に努力している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	行事予定をホーム新聞に掲載し、コロナ禍ではあるが報告をしている コロナ禍のため、外出・外泊は自粛中である		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	特別な事情がない限り、面会・外出等は関係性が途切れないように支援している	知人や家族の面会が多く、電話の取次ぎも支援している。近くの店に買い物に行ったり公園に短時間でも出かけている。自分の家を見たいと希望のある利用者は車の中から眺めて安心できるように計画している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者の性格・状態に合わせた席の配置やコミュニケーション時に中間役を担っている		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後もご家族の相談に応じたり、ボランティアなどで関係を持ち、維持している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者様と接する中で、会話や表情から思いを引き出し、困難な場合はご家族からも暮らしの希望・意向を聞いている	日頃の関わりの中で話を聞いたり、夜勤・入浴時に声かけしたり、表情や仕草で把握している。利用者同士の会話にも耳を傾けて思いを把握している。困難な場合は家族から情報を得て職員で話し合い支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人やご家族より情報収集を行い、その人らしい生活ができる様に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の介護記録や申し送りで、一人一人の現状把握に努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月のミーティングで、利用者様の状態を把握し、ご本人やご家族の意見を取り入れ、現状に合ったケアプラン作成に繋がっている	本人や家族・関係者の意見を取り入れ、担当者会議で話し合い、主治医の意見を参考に介護計画を作成している。モニタリングは毎月実施し、退院時や更新の時期・変更時には、その都度計画の立て直しをしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>気づきや工夫した事は記録に残し、職員間で情報交換・共有する事で、介護計画の見直しに役立てている</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>一人ひとりのその時の状況変化に応じて、職員間で情報交換・ミーティングを行い、ニーズに応じた支援を行っている</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>コロナ禍で、地域行事（文化祭・運動会など）への参加が出来ず、季節の行事や季節の食事を提供する事で支援している</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>コロナ禍もあり、定期受診は職員もしくはご家族にて、代理受診している</p>	<p>馴染みの医療機関を優先し、家族や本人の意見を聞いて決めている。定期健診は家族や職員が同行し、結果は家族に報告している。複数の医療機関と連携が取れている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日常の情報を共有し、主治医との連携を取り、適切な看護を受けられるよう環境づくりに努めている</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>情報提供書を作成・提出している ご家族や医療機関との情報交換を共有しながら、早期退院に努めている</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>定期的にご本人・ご家族との話し合いを行い、ご家族の意向を聞きながら、ご本人の気持ちに沿った支援を行っている</p>	<p>看取りのマニュアルがあり、入所時に重度化の場合についての説明をして同意を得ている。医療機関との連携ができています。状況に応じて家族へ説明をしている。看取りの経験があり、家族に看取りで協力が必要である事を理解してもらっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急マニュアルを作成し、定期的に手順を確認し、冷静に行動できるように努めている</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>避難訓練時の誘導について、注意点・移動方法などを消防局の方に指導して頂いている</p> <p>年に2回昼・夜間を想定した訓練を実施している</p>	<p>火災時の避難訓練を自主で1回、消防署立ち合いによる訓練を1回計2回実施。地震・水害等の自然災害に対する避難訓練を内部研修に取り入れている。防災マップもある。備蓄は2階の倉庫に水・米・レトルト食品・缶詰類・インスタント食品等、災害頭巾も準備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	訪室する際は、必ずノックや声掛けを行う 入居者の性格を理解し、その人に合った言葉かけを行っている	支援の方法等についてミーティング時に話し合いを行ったり、勉強会を実施し、入室時はノック等を行ってプライバシーの確保に努めている。入浴・トイレ介助等では羞恥心に配慮して支援している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人や家族とケアカンファレンスを行い、希望などを自己決定できるように声掛けや支援をしている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人の体調にも考慮し、起床・就寝時間等の、一人ひとりと希望に合わせた支援を行っている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	定期的に訪問カットを依頼している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の盛り付けや下膳など、本人が出来る範囲で片付けをしている	畑の旬の野菜等を活用して日常の食事はユニット毎に献立を作成し、行事食の時は同じ献立である。誕生日は本人の希望でケーキ等を食べたり、おせち料理やおはぎ・赤飯・中華丼等、食事を楽しんでいる。もやしの根切・配膳・下膳等を、できることは職員と一緒にやっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとり、水分量を把握し栄養バランスを考えた食事を提供するように心がけている 摂取量が確保できていない場合は、捕食・補水を行っている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを行い、義歯洗浄を行っている 必要に応じて、訪問歯科を依頼している		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターン表を活用し、定期的に声掛けや誘導を行っている	排泄のパターンを把握し、昼間は時間を見計らってトイレ誘導の声掛けを行っている。排泄用品は個々に選択し、トイレでの排泄の自立に向けた支援を行っている。退院時オムツ使用者が、リハビリパンツに改善した事例がある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事に食物繊維や乳製品等を取り入れたり、必要に応じ主治医に相談し、便秘薬を使用している		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は週3回実施しているが、希望で中止される方もいる 気持ち良く入浴して頂く事を考え、環境整備・タイミングをみて声掛けしている 身体の状態を観察し、必要な場合は処方された軟膏を塗布している	入浴は基本的に週3回午前中に実施しているが、本人の希望により午後に入浴する事もある。入浴拒否のある利用者には声かけのタイミングを検討したり、担当者を変えて再度声かけを実施し、シャワー浴や清拭にする時もある。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	浮腫のある方は、午後より休息して頂くが、他の方はホール・居室にて自由にして頂いている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人一人の処方薬の説明書をファイリングしてあり、誰でも確認できるようにしてある 服薬の変更は、申し送り等で報告し、情報を共有している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>お手伝いを出来る範囲でして頂いている 歌を歌ったり、体操等で気分転換も図っている</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>コロナウイルスのため、大勢での外出が出来なくなっているが、個別ケアでコンビニへの買い物や散歩へは希望があれば行っている</p>	<p>コロナ禍で外出が困難になっているが、職員がアイデアを活かし、毎日近くの店へ買い物に行く利用者に対しては、職員が同行し散歩を兼ねたり、個々に楽しめるように取組んでいる。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご家族への了承を得て、希望があれば預り金よりお金を渡し、使えるようにしている</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>年賀はがきへは書ける方には一言書いて頂いている また、ご家族から電話があれば話もして頂いている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホールは換気を24時間行い、加湿器も使用している ソファや椅子も置いてあり、誰でも座れるようにしている 季節を感じて頂けるように、花を飾ったり壁面飾りにも季節を取り入れている	ホールは換気・室温・湿度に配慮し、廊下は広くて長く歩行訓練に活用している。掲示物を季節毎に貼り変えたり、行事時の写真を掲示して楽しんでいる。 ソファでゆっくりと会話しながら、居心地よく過ごせるように工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者様が一緒に過ごせるように、共有スペースにはTV・ソファなどを配置している		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	アルバム等を居室に設置したり、花なども置き工夫している	施設の備え付けとして、エアコン・タンス・ベッドがある。加湿器の使用も可能である。寝具は本人持参でその他にぬいぐるみや人形・仏壇などがある。洋服ラックの貸出も実施し、居心地よく過ごせるように工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	玄関にはセンサーを設置している トイレ内・廊下には手すりを設置している		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない